



## 第21回 マルちゃん杯関東少年柔道大会 要項

アンダーライン変更箇所

1. 目的 柔道の試合を通じて心身の鍛錬及び、その技能を磨き、将来を担う関東地区の少年相互の親睦を図り、明るく、正しい、そしてたくましい少年の健全育成を目的とする。
2. 主催 財団法人 東京都柔道連盟、東洋水産株式会社
3. 主管 財団法人 東京都柔道連盟
4. 後援 財団法人 全日本柔道連盟、東京都教育委員会、財団法人 東京都体育協会、  
(予定) 関東柔道連合会、東京都中学校体育連盟、ベースボールマガジン社「近代柔道」
5. 日時 平成23年7月3日(日) 開場 7時15分  
(日程) 審判会議 8:20~2F大研修室 監督会議 8:40~第一武道場  
開会式 9:00~9:10 試合 9:20~ 閉会式予定 17:00~
6. 会場 東京武道館〔東京都足立区綾瀬 3-20-1 TEL 03-5697-2111〕
7. 参加資格 (1) 対象は小・中学生とし現に各加盟団体の小・中学に在学している者であって、「学校」「柔道場」「クラブ」「スポーツ少年団」等の単位とする。  
(但し、実態が同一である団体は、1チームのみ出場できる。)  
(2) 選手本人の出場意思を確認し、健康に十分な配慮を行い保護者並びに団体の承諾を得ること。  
※承諾欄は保護者又は監督が捺印の上、提出すること。  
(3) 出場チームは、指導者が必ず監督として引率すること。  
勝敗にこだわり、選手を臨時に他のチームから移籍する等の行為があった場合はそのチームを失格とし、今後の本大会の出場を認めない。  
(4) 監督・チームとも該当年度全日本柔道連盟に登録済みであること。  
出場する選手は出場するチームを通して競技者登録をしていること。  
(もし、未登録のチームは本大会に出場できないので速やかに所属連盟に登録手続きを行うこと。所属連盟は登録の有無を確認のうえ申込みをすること)  
同一チームが、小学生の部・中学生男子の部および、中学生女子の部に出場する場合の監督は、兼任出来ない。  
(5) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。  
もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
8. 審判規定 (1) 試合は国際柔道連盟試合審判規定及び「少年大会申し合せ事項」による。  
(2) 試合時間  
各部ともに1回戦~準々決勝戦まで2分とし、準決勝戦・決勝戦は3分とする。代表戦についても、それぞれ2分及び3分とする。  
(3) 「優勢勝ち」の判定基準  
①「有効」または「指導2」以上とし、得点差がない場合は引分けとする。
9. 試合方法 (1) 団体試合とし、小学生の部、中学生男子の部及び中学生女子の部の3部制とする。  
(2) チーム編成は、小学生の部および、中学生男子の部は監督1名・選手5名・補欠2名、計8名、中学生女子の部は監督1名・選手3名・補欠1名、計5名とする。  
但し、選手の配列は、段、級及び学年は自由とするが、負傷・事故防止のため、体重の重い順に大将から配列するものとする。  
負傷等で補欠起用が生じた場合は、改めて体重の重い順に大将から配列する。また、欠員が生じた場合は最も軽い位置を欠員とする。  
なお、小学生の部においては男女の混合は認めるが、中学生の部においては男女の混合は認めない。  
(3) 試合は小学生の部及び中学生男子の部は5人制、中学生女子の部は3人制の点取り試合とし、トーナメント戦により実施する。

- (4) トーナメント戦の勝敗の決定は次による。
- ア. 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
  - イ. (7)で同等の場合は、「一本」(それと同様の勝ちを含む)による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
  - ウ. (4)で同等の場合は、「技あり」または「指導3」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
  - エ. (7)で同等の場合は、代表戦を1回行い、必ず勝敗を決する。  
出場する選手は「引分け」であった対戦の中から1試合を抽選で選出する。

10. 表彰
- (1) 上位各8チーム(中学生女子の部は4チーム)までの入賞チームを、(財)東京都柔道連盟及び、東洋水産株式会社から賞状(第3位まで)及び賞品を授与する。
  - (2) 入賞チームの中から最優秀選手を選考し、各部1名にフレッド・ワダ杯を授与する。
  - (3) 入賞チームの中から優秀選手を選考し、各部8名(中学生女子の部は3名)に優秀選手賞を授与する。
  - (4) 平成23年度全日本選抜少年柔道大会開催日並びに参加資格チーム数  
小学生の部上位8チーム、中学生男子の部上位12チーム及び中学生女子の部上位4チームは、平成23年9月19日(月/祝日)東京武道館で開催される、平成23年度全日本選抜少年柔道大会への出場権を得る。  
なお、全国大会出場者は今大会のプログラムメンバーに限る。
  - (5) 出場者全員に東洋水産株式会社から参加賞を授与する。

11. 申込方法
- (1) 申し込み期限  
平成23年6月3日(金)必着(別紙申し込み書様式による)
  - (2) 申し込み先(問い合わせ先)  
〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30講道館内 財団法人東京都柔道連盟  
TEL: 03-3818-4246、5639 FAX: 03-3818-5644

12. 選手変更
- (1) 選手(補欠を含む)の申込提出後の変更は原則として認めない。
  - (2) 選手の負傷等で止むを得ず欠場する場合は、補欠より補充し、体重の重い順でチームを編成し大会4日前【6月29日(水)18:00】必着で届け出ること。  
選手の体重の増減によりオーダーに変更がある場合も届け出ること。
  - (3) 大会当日、監督会議前の選手変更は受け付けない。  
(最初の試合から出場せず不戦負けの場合は、その後の試合でも補充出来ない。この場合、最も軽い位置を欠員とする。)
  - (4) 当日試合中に負傷者が出た場合は、補欠より補充し、改めて体重の重い順に大将から配列する。なお、欠員が生じた場合は、最も軽い位置を欠員とする。
  - (5) 負傷等により変更になった選手は、以後の試合に出場出来ない。

13. 組み合わせ 平成23年6月10日(金)事務局において、(財)東京都柔道連盟及び東洋水産株式会社立会いのもとに行う。

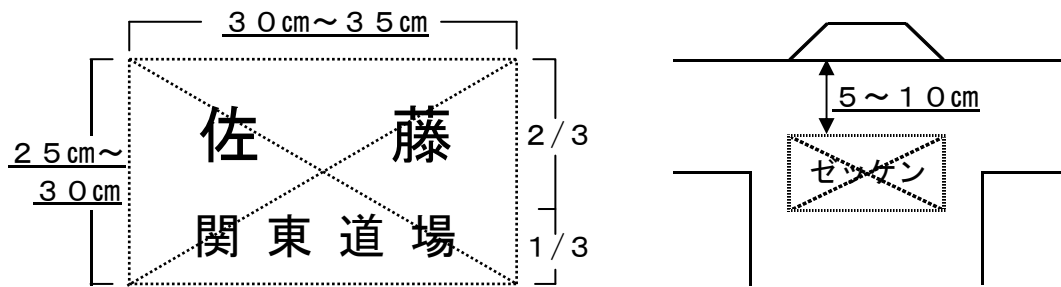
14. 参加費 参加費は無料

15. 傷害保険
- (1) 主催者は、参加者全員の傷害保険に加入し費用を負担する。
  - (2) 参加者は健康保険証を必ず持参すること。
  - (3) 大会中の不慮の負傷、疾病については応急処置は施すがそれ以外の責任は負わない。  
※万一事故の発生に備え、各チーム独自で傷害保険等に参加するなどして万全の事故対策を立てておくこと。

16. その他
- (1) 選手の宿舎及び大会当日の昼食は各自で用意すること。
  - (2) 宿舎の斡旋は行わない。
  - (3) 申込み用紙に記載されている事項(氏名・体重・身長等)は、大会プログラムに掲載されます。また、大会における写真等が新聞・雑誌・ホームページに掲載されることを、了承されたものとして扱わせていただきます。

17. ゼッケン 図1. ゼッケンの縫付方

図2. ゼッケンの縫付位置



- (1) 柔道衣にゼッケンを取り付けること。付いてない選手は出場出来ない。
- (2) チームに2名以上同じ名字(姓)の場合は、名前の一文字を加える。
- (3) .....の部分縫い付ける。
- (4) 図2. の位置に強い糸で縫い付ける。(対角線にも)
- (5) 名字(姓)は上側2/3、全柔連に団体登録した所属名(チーム名)は下側1/3。  
1/3。
- (6) サイズは概ね横30 cm ~ 35 cm、縦25 cm ~ 30 cm。
- (7) 布地は白色とし、書体は太いゴシック(楷書)で、男子は黒色、女子は濃赤色。

※ 平成20年4月より全日本柔道連盟のゼッケン規定が変更となりました。上記を参考の上、規定に対応したゼッケンを着用願います。